

鈴籠・利用規約

本規約は、当施設の利用に関し、当施設を利用するすべてのお客様（以下、「利用者」といいます）に適用されます。利用者は当施設を利用するにあたり、本規約に同意したものとみなします。

第1条（適用範囲）

本規約は、当施設が提供する宿泊サービスおよび付随サービス（以下、「宿泊サービス等」といいます）に対して適用されます。

利用者は、本規約ならびに当施設が別途定める各種規程・注意事項等を遵守しなければなりません。

第2条（宿泊契約の成立）

- 利用者が当施設に対して宿泊の申し込みを行い、当施設がこれを承諾した時点で宿泊契約が成立します。
- 当施設は、事前に定める方法（電話・ウェブ予約・メールなど）により予約を受け付けます。
予約が成立した場合、本規約が適用されます。

第3条（宿泊料金および支払方法）

- 宿泊料金は、当施設が定める料金表に従い利用者に事前に提示されるものとします。
- 支払方法は、クレジットカードその他当施設が指定する方法とします。
- 予約時に、当施設が指定する手続に従いお支払いいただきます。

第4条（チェックイン・チェックアウト）

- チェックイン時刻・チェックアウト時刻は当施設が別途定めるものとします。
- 当施設は、無人運営のセルフチェックイン・セルフチェックアウト方式を採用しており、原則としてスタッフは常駐しておりません。
- 当施設が指定するチェックイン手続が完了していない場合、当施設への入館および宿泊はできません。
- チェックアウト時刻を過ぎても退室が確認できない場合、追加料金を請求する場合があります。
- 緊急時または安全確保上必要な場合、当施設は承諾なく客室に立ち入ることがあります。

第5条（食事付きプラン）

- 当施設において提供される食事は、すべて外部の専門業者（以下、「仕出し業者」といいます）により調製・提供されます。
- 食事内容・分量・提供時間等については、仕出し業者の都合により一部変更となる場合があります。
- 食事に関する品質・内容・アレルギー対応等についての責任は、仕出し業者に帰属するものとし、当施設は一切の責任を負いません。
- 食事付きプランをキャンセルされる場合は、キャンセル料の対象となります。

第6条（キャンセルポリシー・公式予約）

ご予約のキャンセルにあたっては、以下のとおりキャンセル料を申し受けます。

なお、連絡の有無にかかわらず、所定の期日を過ぎた場合はキャンセル料が発生します。

また、宿泊料金に加え食事等のオプション料金を含む総額を対象とします。

- 宿泊日の2日前のキャンセルは、ご予約総額の50%
- 宿泊日前日のキャンセルは、ご予約総額の80%
- 宿泊日当日のキャンセル・不泊は、ご予約総額の100%

各予約サイト（OTA）の規定により、キャンセルポリシーが異なる場合があります。
その場合は、ご利用の予約サイトに定められたポリシーが優先して適用されます。

第7条（利用者の責任）

1. 利用者は、本規約や当施設が別途定める各種規程・注意事項を守り、周囲に配慮して宿泊サービス等を利用する義務を負います。
2. 利用者は、当施設が発行する暗証番号等を第三者に開示してはならず、自己の責任において管理するものとします。
3. 利用者が本規約に違反し、当施設に損害を与えた場合、当施設は利用者に対して損害賠償を請求することができます。
4. 利用者は、予約時に申告された人数を超えて宿泊することはできません。
館内には防犯カメラを設置しており、定員超過が確認された場合は、追加料金をご請求する場合があります。

第8条（利用上の注意）

1. 当施設は簡易宿所として、多人数が共用する設備を含みます。利用者は他の利用者の迷惑となる行為（騒音や共有スペースの占有など）を慎むものとします。
2. 当施設内は、当施設が指定する場所以外全面禁煙です。喫煙場所は当施設が指定したエリアに限ります。
3. 貴重品は利用者各自で管理してください。当施設は、紛失・盗難等について責任を負いかねます。
4. 施設や備品を破損・汚損した場合、速やかに当施設へ届け出るとともに、修繕・交換に要した費用を実費にて負担いただく場合があります。
5. 館内での調理行為（ガスコンロ・IH調理器・ホットプレート・電気鍋等を含む）ならびに食材の持込みによる自炊は、安全上・衛生上の理由により禁止します。
6. 宿泊者の手荷物または携帯品が当施設に置き忘れられていた場合、食品・飲料その他衛生上保存が困難な物品（下着類等）は、衛生上の観点から即時に処分します。
上記以外の忘れ物は、遺失物法に基づき発見日を含め7日間保管したうえで最寄り警察署へ届け出ます。
警察署での保管期間（3ヶ月）内に所有者が現れない場合は、同法の定めにより処分されます。

第9条（宿泊の拒否）

当施設は、以下の場合において宿泊をお断りすることがあります。

1. 宿泊の申し込み内容が、法令や公序良俗に反すると認められるとき。
2. 当施設および他の利用者に、著しく迷惑を及ぼすおそれがある状態（泥酔等）であると判断されるとき。
3. 定員オーバーや設備トラブル等の事由により、宿泊サービスを安全に提供できないと判断されるとき。
4. 18歳未満（高校生含む）の宿泊者のみでの宿泊。
5. 宿泊しようとする者が、伝染病であると明らかに認められるとき。
6. 危険物（ストーブ等の火器・石油類）および人体に有害な物品を持ち込むとき。
7. 犬・猫・小鳥等の動物、ペット全般（盲導犬・介助犬は除く）を持ち込むとき。
8. その他、当施設が不適切と判断する行為がある場合。

本条各号に該当する場合、当施設は退去または入館・滞在の制限を行うことができるものとします。

本条に基づく宿泊拒否または退去等の場合、既に支払い済みの宿泊料金等は返金いたしません。

第10条（言語対応）

- 当施設のご案内・緊急連絡は、日本語で行います。宿泊者は、これらを理解し遵守できることを前提とします。
- 宿泊者が日本語による意思疎通に著しく支障があり、安全上または運営上の対応に重大な支障を及ぼすおそれがあると当施設が判断した場合、安全上の理由により宿泊をお断りすることがあります。

第11条（反社会勢力の排除）

- 当施設は、暴力団・暴力団員・暴力団関係企業・総会屋、またはその他の反社会的勢力（以下、「反社会勢力」といいます）に属する方、もしくはそれらと密接な関係を有する方の利用を固くお断りします。
- 利用者が反社会勢力に該当すること、もしくは反社会勢力と密接な関係を有することが判明した場合、当施設は宿泊契約を直ちに解除するとともに、即時退去を求めることがあります。
- 前項により当施設が宿泊契約を解除した場合、既に支払い済みの宿泊料金等は返金いたしません。
- 反社会勢力の排除に伴い、当施設または第三者に損害が発生した場合、利用者は当施設および当該第三者に対して、損害を賠償する責任を負うものとします。

第12条（設備・備品の損害賠償）

- 利用者が故意または過失により、当施設の設備・備品を破損・汚損または紛失した場合、利用者は当施設に対して損害賠償の責を負います。
- 通常の利用範囲を超える著しい汚損・悪臭・散乱等が確認された場合、原状回復に要する費用を請求することができます。

第13条（個人情報の取り扱い）

- 当施設は、利用者の個人情報を適切に管理し、プライバシー保護に配慮します。
- 当施設は、取得した個人情報を以下の場合を除き、第三者に開示または提供いたしません。
 - 利用者本人の同意がある場合
 - 法令に基づく開示要請があった場合
 - 人命・身体・財産等の重大な利益保護が必要で、利用者の同意を得ることが困難な場合
 - 当施設が宿泊サービスを円滑に提供する目的で、当施設の従業員または秘密保持契約を締結した業務委託（仕出し業者・清掃業者等）に必要最小限の情報を提供する場合

第14条（免責事項）

- 利用者の不注意や自己管理の不備により発生した事故・盗難・紛失等について、当施設は一切の責任を負いません。
また、駐車場内での盗難・事故についても一切の責任は負いません。
- 天災地変・公共交通機関の停止・その他当施設の責に帰さない事由により、利用者が宿泊サービス等を受けられなかった場合、当施設はその責を負いません。
- 当施設の利用中に発生したトラブル（他の利用者との紛争など）は、当事者間で解決するものとし、当施設はその責任を負いません。
- 災害・火災・警報発令等により安全確保上必要な場合、当施設は退去または避難を求めることがあります。

第15条（規約の変更）

当施設は、必要と判断した場合、本規約を変更することができます。変更後の規約は、当施設のウェブサイトや施設内の掲示などにより告知し、その告知の時点から効力を有するものとします。

第16条（準拠法および合意管轄）

本規約に関しては日本法を準拠法とし、本規約または当施設の利用に関して生じる一切の紛争については、当施設の所在地を管轄する裁判所をもって専属的合意管轄裁判所とします。